

洪水浸水想定について

洪水浸水想定について

この地図は、利根川、手賀川・手賀沼を対象とし、国・県が想定した想定最大規模の大雨により増水し、堤防が決壊した場合の浸水想定を掲載しています。破堤想定地点は、500m の間隔で堤防が決壊することを想定しています。※手賀沼については、100m 間隔で想定しています。

浸水する範囲と浸水深・家屋倒壊等氾濫想定区域ならびに指定避難所等を示しています。

万が一の場合に備えて、市民のみなさんの安全な避難に役立ててください。

浸水の範囲は、以下の条件の雨が降った場合を想定した浸水氾濫予測となっています。

河川名	流域	想定雨量	公表年月日	作成機関
利根川	利根川流域・八斗島(群馬県伊勢崎市)上流域	72時間総雨量 491mm	平成29年7月20日	国土交通省
手賀川・手賀沼	手賀川・手賀沼流域	48時間総雨量 815mm	平成29年6月30日	国土交通省・千葉県

●家屋倒壊等氾濫想定区域とは

氾濫水の流速が速く、木造家屋などが倒壊するおそれのある区域です。この区域では、洪水が予想される場合は、早期の立退き避難が必要となります。

この地図は、あくまでも想定図ですので、浸水や氾濫が予測されていない区域でも状況により浸水もしくは氾濫する場合がありますので、注意してください。

浸水深の色の見方と浸水深に応じた避難行動 ※洪水ハザードマップの見方

浸水規模	避難行動	注 釈	
早期の立退き避難が必要な区域	木造家屋が倒壊するおそれのある区域「家屋倒壊等氾濫想定区域」(浸水深5.0m以上)	ただし、氾濫が既に開始している場合など、指定緊急避難場所へ移動することにより、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所への避難が必要。さらに、外出することすら危険な場合には、屋内安全確保が必要。	頑丈な高層ビル等の場合は、浸水深以上の階であれば屋内安全確保でもよい。
	家屋が水没するおそれのある区域(浸水深 3.0m～5.0m)	2階まで浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。	3階建て以上であれば、屋内安全確保でもよい。
浸水深3.0m未満	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが、浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でもよい。	1階が浸水するおそれがある区域の1階建ての建物等においては、早期の立退き避難が必要。	
浸水想定区域外	想定区域外でも、浸水が広がる可能性があるため、情報収集をよく行い、危険を感じたら避難する。	浸水想定区域内の住民等が避難してくることも考えられるため、避難の手助けを行う。	

※要配慮者は、安全な避難のため、より早期に判断しましょう。また、屋内安全確保をするためには要配慮者に応じた準備が必要です。

大雨・台風時の注意事項

- 低地では、大雨や台風のとくに道路や宅地が冠水するおそれがあります。気象情報などで雨の降り方に注意してください。

防災気象情報

<http://dim2web03.wni.co.jp/abikocity/warntable/index.html>

- 避難勧告・指示が出たときには、すみやかに避難しましょう。夜間、雨の中を歩く速度は1時間で1.5～2kmが目安となりますが、お年寄りや子供が一緒のときはさらに時間がかかります。
- 市役所からの避難の呼びかけは、雨戸や風雨の音で聞こえにくい場合があるので、注意しましょう。
- 大雨の時には、河川や用水路の見回りはやめ、安全な建物内に退避しましょう。



ただちに避難して下さい!!